

食と雪のあったか会 in 湯口内

カテゴリー-3【生活】チーム

伊藤 恵子 楡井 寿枝 藤原 絹子



♥ 概要・イメージ

午前：阿仁地区農村生活研究グループ協議会 湯口内グループの工藤正子さんのビニールハウス(郷土料理体験の受け入れをしています。)を会場に、阿仁の生活・文化を食を通して学ぶ。

けの汁・きりたんぼづくり

~ここでの体験ポイント~

けの汁：野菜を切る、豆たたきをする

きりたんぼ：きりたんぼ鍋用に野菜を切る、たんぼ作り、みそたんぼ作り

「食の祭典」にて、好評だったメニューをいただく。

午後：参加者全員で“あったかまくら”(ミニかまくらに穴を空け、ろうそくを立てて火を灯したもの)を作成し、地域住民と参加者が一緒に作業して阿仁地域の冬の風物詩となる風景を創る。

場所：工藤正子さん宅前の河川沿い。または、阿仁合駅付近(阿仁支所裏)の線路脇。

♥ 目的と効果

湯口内地区の農家が、春から秋まで作物を作る作業場所を一般の人に体感してもらい、ビニールハウスでの体験によって、農家の生活を垣間見てほしい。

郷土料理である、きりたんぼ、けの汁を一緒に作って食べることで「食」の持つおいしさだけでなく「心」の満足を味わってほしい。

参加者と湯口内の住民との交流を共に作り、食することで、この先に輪が広げられ、交流が続けばと思う。また、ミニかまくらづくりによって、阿仁の皆さんにとって、地元で普段あるもの(やっかいもの大雪だろうけれども)が財産であるということと、これをもっと売り込む素材にできることを認識してもらおう場づくりにしていく。また、今後ただで阿仁地域を盛り上げるのではなく、さまざまな人との新しい参加関係で阿仁を盛り上げる方向を探っていく可能性につなげる。



日時

平成18年2月25日(土) 10:30~16:00



実施場所

北秋田市阿仁湯口内地区

希望者がいれば、10:15 北秋田市阿仁支所前集合でバス輸送。



参加者

北秋田地域に住む家族 5家族程度(大人10名、子供10名 計20名)

Akita 活力人メンバー、どやぐ会、事務局、先生 30名

合計 50名



参加費

大人1,000円、子ども(小学生まで)500円



各自準備していただくもの

食体験で使うもの：エプロンや割烹着

かまくらづくりで使うもの：防寒着、長靴、手袋、バケツ、スコップ、一升瓶(バケツの大きさに見合ったビンであればOK)、ろうそく

バケツ、スコップ、一升瓶、ろうそくはご用意できる方はなるべくご持参下さい。

ろうそくはどんなものでも結構です。ご家庭で使って小さくなったもの、ケーキのろうそくでも結構です。本数も制限ありませんので、ご協力お願いします。



日程 ゆとりをもった時間配分にしています。

時間	内容	担当	留意事項
10:00~10:30	受付	活力人(2人)	バス移動する方は10:15に阿仁支所前で受付。 準備:領収書、つり銭
10:30~13:30	郷土料理体験と「食の祭典」人気作品(2~3点)の試食	指導:工藤正子さん他生活研究グループ(5名程度)	けの汁:野菜を切る、豆をたたく キリタンポ鍋:野菜を切る、タンポ作り、みそタンポ作り
13:30~14:00	かまくら作り会場へ移動・準備		工藤さん宅前河川
14:00~15:30	ミニかまくら作り	活力人、どやぐ会	準備:バケツ、スコップ(移植ベラ)、一升瓶ビン、ろうそく、マッチ(又はチャッカマン)

			作成手順を簡単に説明する。
15:30~16:00	順次ろうそくへの火入れをし、点灯開始。	活力人、どやく会	帰り時間に合わせて徐々に点灯していく。だんだん暗くなる中で、ろうそくのあったかいオレンジ色の光がゆらゆらと灯り、参加者の皆さんを包む風景を創り出す！
16:00	全部のかまくらが灯った時点で集合し、まとめと解散式。記念に写真撮影。現地解散。~後片付け。	撮影：活力人	かまくらの灯りに送られながら解散。 写真をポストカードにして、企画実施後に参加者へ送り、今回のお土産としたい。



収支計算

< 収入 >

参加費(北秋田地域の家族) 大人@1,000 円×10 人 = 10,000 円

子供@ 500 円×10 人 = 5,000 円

活力人、事務局等 大人@1,000 円×30 人 = 30,000 円

収入合計 45,000 円

< 支出 >

郷土料理指導・提供謝礼(工藤さんへ) 20,000 円

「食の祭典」氏食品提供謝礼 @10,000 円×2 人 = 20,000 円

記念品用はがき代・ろうそく等消耗品費 5,000 円

支出合計 45,000 円